

<b>科目（講座名）</b>	<b>日本史B</b>	<b>3単位</b>	<b>必履修</b>
教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版社）	担当教諭	
副教材	最新日本史図表 三訂版(第一学習社)		

学習の目標

系統化された歴史学体系の視点・概念・知識を得る過程で、生徒一人ひとりが歴史観・歴史哲学を涵養し、より良い歴史の創造者となる手がかりをつかむことを目標とする。

授業内容

「第9章 近代国家の成立」から「第13章 激動する世界と日本」を扱う。  
近代から現代へと展開する歴史の流れを、政治、文化、経済などの様々な観点から学習し、歴史への理解を深める。教科書だけでなく、写真や地図、史料を多く活用し、歴史的な事象を多面的・多角的にとらえる力を養うことを目指す。

学習方法

板書を中心とした講義形式。必要に応じてプリント学習を併用する。図表・史料を随時使用する。単元ごとに学習した基本事項などを確認するとともに、入試問題へ対応できる実践的な学力を養成する。

評価の観点

関心・意欲・態度	各時代の政治体制や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。課題やプリントに意欲的に取り組み、決められた期日までに提出している。
思考・判断	中央集権や地方の支配体制の変遷や経済・文化の動向から課題を見出し、世界との関係や地方の動向と関連づけて多面的・多角的に考察している。
技能・表現	政治権力の変遷や文化の特色に関する現物資料・文献などの史料を活用し、追究・考察した過程や結果を適切に身につけている。身につけた基本事項を議論や論述する場面で適切に活用している。
知識・理解	政治・経済・文化等についての基本的な事情を、世界との関係の変化と関連づけて理解し、その知識を身につけている。

評価方法

定期考査を基本に、小テスト・ノート・プリント等の提出物により平常点を加味し、上記の観点を総合して評価を行なう。

## 地理歴史

### 年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1		39	第9章 近代国家の成立		<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治新政府の制度改革に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。</li> <li>・明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。</li> <li>・日清・日露戦争開戦に至る国際関係や戦後の日本の国際的地位について、諸外国の動向を関連付けて考察する。</li> </ul>
	4		開国と幕末の動乱	開国～幕末の科学技術と文化	
	5		明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争	戊辰戦争と新政府の発足～日清戦争と三国干渉	
	6		日露戦争と国際関係 近代産業の発展	立憲政友会の成立～社会運動の発生	
	7		近代文化の発達	明治の文化～生活様式の近代化	
2		42	第10章 二つの世界大戦とアジア		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、世界情勢や政党内閣の成立などと関連させて考察する。</li> <li>・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程を考察する。</li> <li>・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。</li> </ul>
	9		第一次世界大戦と日本	大正政変～政党内閣の成立	
	10		ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化	パリ講和会議とその影響～学問と芸術	
	11		恐慌の時代 軍部の台頭	戦後恐慌から金融恐慌へ～二・二六事件	
	12		第二次世界大戦	三国防共協定～敗戦	
3		24	第11章 占領下の日本		<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。</li> <li>・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。</li> <li>・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。</li> </ul>
	1		占領と改革 冷戦の開始と講和	戦後世界秩序の形成～占領期の文化	
	2		第12章 高度成長の時代  55年体制 経済復興から高度成長へ	冷戦構造の世界～高度成長のひずみ	